




古備前四耳大壺



指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	こびぜんしじだいこ
所在地	赤磐市中島 千光寺
指定年月日	昭和62年6月6日
解説	備前焼が鎌倉時代になって焼き締め陶へと転じた後の最古例の完形在銘品であり、肥厚した玉縁、撫肩からややふくらみをもって張るタマゴ型の形姿は、室町時代の特徴をそなえた堂々とした大作である。銘文中「石井原山」とは現在でも千光寺の山号として用いられており、「橋本坊」は千光寺の一塔頭であった。「福安」という年号は、文安元年(1444)の私年号と考えられる。寄進先、制作年、作者等が明確な基準資料であり、中世備前焼の歴史を研究する上でも貴重である。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	<p>駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。</p> <p>    </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品)
ぶんかざいめい (文化財名)	古備前四耳大壺
よみかた	こびぜんしじだいこ
しょざいち (所在地)	赤磐市中島 千光寺
していつひ (指定した日)	昭和62年6月6日
せつめい	岡山県の伝統的(でんとうてき)な工芸品(こうげいひん)としてとても有名(ゆうめい)な備前焼(びぜんやき)の先祖(せんぞ)ともいえる焼(や)きものです。およそ500年以上前につくられたと考えられています。岡山県立博物館(おかやまけんりつはくぶつかん)で保管(ほかん)されています。